

平成23年行政事業レビューシート（外務省）

事業名	ハーグ条約セミナー開催経費	担当部局庁	総合外交政策局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度開始	担当課室	子の親権問題担当室	室長 辻阪 高子			
会計区分	一般会計	施策名	Ⅱ－Ⅰ 国際の平和安定に対する取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項 外務省組織令第35条	関係する計画、通知等	閣議了解(平成23年5月20日)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成23年5月20日付け閣議了解において「国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約(ハーグ条約)」の締結の方針が閣議了解されたところ、セミナーを開催し、その内容につき広く国民に周知し、関係者の知見を深めることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	既にハーグ条約を締結している欧州・北米・アジア地域から専門家を招へいの上、有識者を含め一般からも広く参加を募りセミナーを開催し公開の場でハーグ条約及びその実施の在り方について議論し、ハーグ条約の内容を広く周知する。						
実施方法	■直接実施 ■業務委託等 □補助 □貸付 □その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	—	—	—	—	7
		補正予算	—	—	—	—	
		繰越し等	—	—	—	—	
	計	—	—	—	—	7	
	執行額	—	—	—			
	執行率(%)	—	—	—			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)
	(成果目標)ハーグ条約及び同条約の我が国における実施状況とその在り方に関しセミナーを通じ広く国民に周知すること及び、当事者、関係者の議論を通じ、関係者がハーグ条約を実効的、効果的に実施できるようにする。 (成果実績)参加者数						
	成果実績	人					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	24年度活動見込
	(活動指標)平成24年度においてセミナーを1回開催する。 (活動実績)平成24年度よりの新規事業。						
	活動実績 (当初見込み)	セミナー開催					
単位当たりコスト	6,954(千円/回) (平成24年度における見込み額)		算出根拠	セミナー開催所要経費見込み額(平成24年度概算要求額)			
平成23年度 (単位:千円) 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	専門家等招へい経費	0	4,805				
	セミナー開催業務委嘱経費	0	1,748				
	通訳経費	0	300				
	出席謝礼	0	101				
計	0	6,954					

事業所管部局による点検				
	評価	項目	特記事項	
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。		
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	ハーグ条約締結方針に関する国民の関心は高く、公開の場でハーグ条約及びその実施の在り方について広く議論することは国民のニーズに合致している。経費の積算にあたっては、過去のセミナー実施実績等を参考に算出している。			
予算監視・効率化チームの所見				
		—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				